書式-13

|  |
| --- |
| 許 可 欄 |
| （印）許可日： |

弁護修習及びホームグラウンド修習における私物端末を

使用した修習関連の情報の取扱いに関する許可申請書

使用する私物端末１台ごとに作成し，情報セキュリティ責任者である配属弁護士会会長から許可の委任を受けた配属弁護

士会司法修習委員会に対し提出し，許可を得る。許可後に申請内容に変更があったときは，改めて申請すること。

情報セキュリティ責任者　殿 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日申請

第　　　期司法修習生　　　　　組　　　　番　氏名

電話番号（平日の日中連絡可能なもの） － 　 　－ 　　　　　　　　　＿

　次のとおり，配属先事務所内外において，私物端末を用いて，修習関連の情報を取り扱いますので，許可してください。

なお，私物端末及び修習関連の情報の取扱いに当たっては，セキュリティ通知に定められた各事項を遵守します。

また，その遵守状況について確認を求められた際は，これに応じます。

おって，作成した一般機密情報を配属先事務所外に持ち出す場合には，その運搬の都度，バックアップを作成します。

ただし，特定機密情報は，修習先（配属先事務所及び指導担当者から指定された修習先）でのみ取り扱い，修習先外に持ち出しません。

|  |  |
| --- | --- |
| ①　取扱場所に制限のある修習関連の情報を取り扱う場所 | □配属先事務所　（　　　　　　　　　　　　）□自宅　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 配属先事務所内外で弁護修習関連の情報を取り扱う必要がある場所を記載する。その他の場合，「帰省先（○○県○○市○○町）」のように記入する。ただし，相当な場所でない場合には，許可はされない。 |
| ②　使用する私物端末 | 種類 | ※｢パソコン」｢タブレット」のように記入する | メーカ名及び種類 | ※｢東芝Dynabook TX-65H｣のように記入する |
| ③　ＯＳ名及びバージョン | ※OS名は「Windows10」「Mac OS」「Android」「iOS」，バージョンは「SP2（Sarvice Pack2）」「Mojave ver 10.14.6(Mac)」「Ver12.4.6」のように記入する |
| ④　私物端末に付けた名称 （注１参照） |  |
| ⑤　OS等の不正改造又は root化の有無 | 　□　していない　　□　不正改造等したことがあるが，OSを再インストールし直した。 |
| ⑥　ファイル共有ソフトの インストールの有無 （注２参照） | 　□　していない　　□　インストールしたことがあるが，OSを再インストールし削除した。 |
| ⑦　特定機密情報を除く修習関連の情報の保存に使用する電磁的記録媒体 | 種類 | ※「内蔵ＨＤＤ」「ＵＳＢメモリ」「外付けＨＤＤ」のように記入する。 |
| セキュリティ機能 | 　□　有　　　　　□　無（情報自体にパスワードの設定を行う） |
| ⑧　インターネット　　接続の有無 | 　□　インターネットに接続する　　□　スタンドアロンパソコンとして使用する |

⑧欄で「インターネットに接続する」にチェックした場合は，以下の欄も記載する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ⑨　インターネット接続に　　利用する個人回線 | 契約者 | 　□　本人　 □　親族（続柄：　　） □　集合住宅等における全戸一括契約 |
| 利用回線名（契約会社名） |  |
| 修習関連の情報を取り扱う私物端末をインターネットに接続する際に利用できる回線は，原則として，司法修習生本人又は親族が契約している個人回線（集合住宅等における全戸一括契約回線を含む。）に限定される。 |
| ⑩　使用する認証用端末 | 種類 | ＊＊｢スマートフォン｣｢タブレット」のように記入る。  | メーカー名及び機種 |  ※「Apple　iPhone11」「SONY Xperia5]のように記入する。 |
| ⑪　②の端末にインストール　　しているセキュリティ　　対策ソフトウェア名 |  |
| 修習関連の情報を取り扱う場合は，原則として，別に知らせるセキュリティ対策ソフトウェアがインストールされたパソコンを使用することが条件となる（ただし，iOS使用端末は除く。）。 |

※　①～⑪の各欄について記入し，□については該当する箇所をチェックをする。

注１　購入時に初期登録したコンピュータ名又はその後に任意に変更したコンピュータ名を記入する。

 コンピュータ名は，

　　　　Windows端末：デスクトップの「コンピュータ」を右クリックし，プロパティを選択して開いた画面で確認できる。

　　　　MacOS端末　：アップルメニューの「システム環境設定」を選択し，「共有」で開いた画面で確認できる。

　　　　Android端末：ホーム画面の「設定」を選択し，「システム」の「端末情報」で開いた画面で確認できる。

　　　　iOS端末　　：ホーム画面の「設定」を選択し，「一般」の「情報」で開いた画面で確認できる。

 これは，情報流出事故があった場合に，流出源を早期に特定して，更なる流出被害を防止するために必要である。

注２　ファイル共有ソフトとは，「Winny」に代表されるファイル共有ソフト又はファイル交換ソフトを指す。 かつてファイル共有ソフト

　　　をインストールした場合には，たとえそれを消去しても，ＯＳから再インストール（初期化）していなければ，「□していない」は，

　　　チェックしない。